

414
A 2030

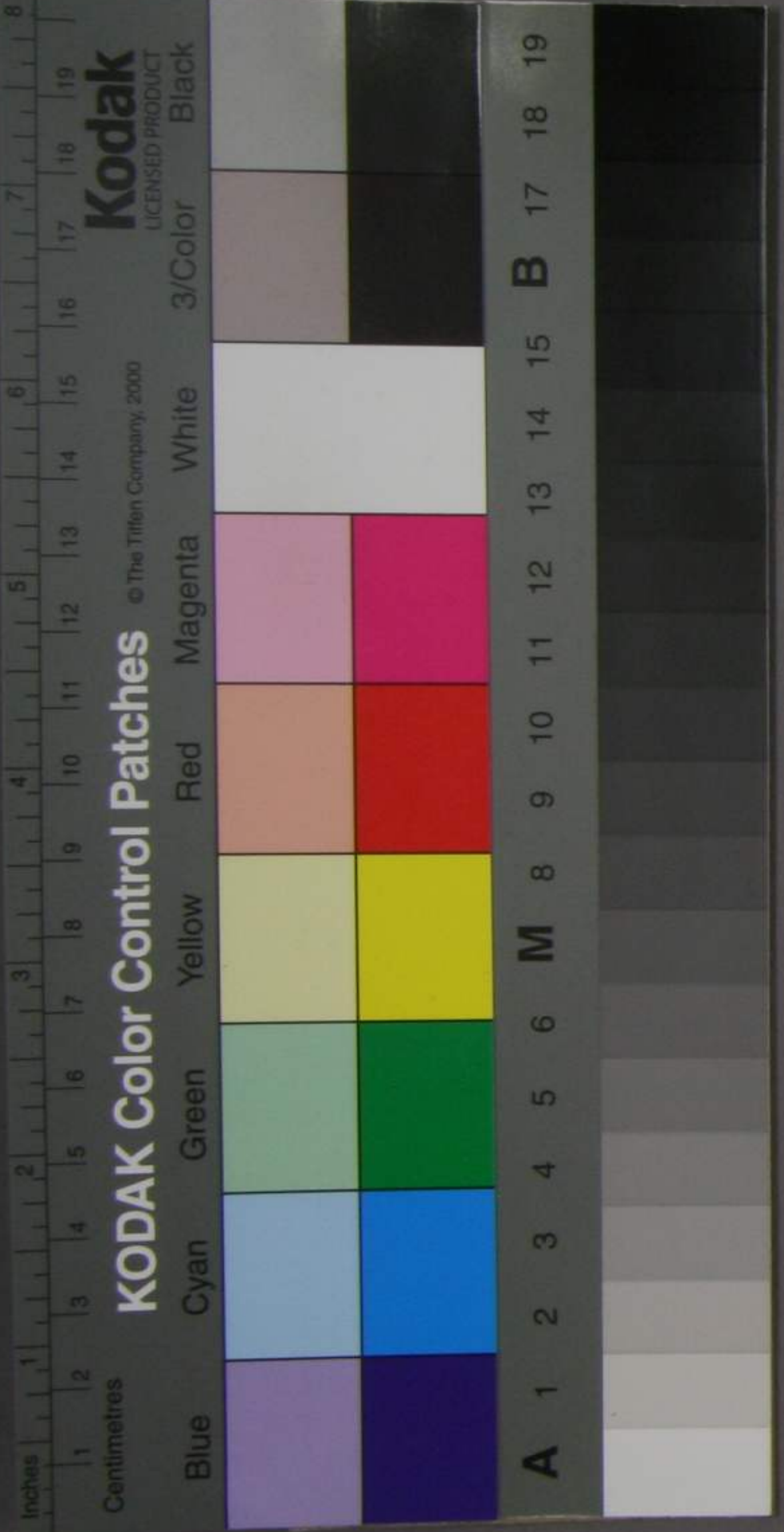


地租改正後每期地租調査
地方官心算書

第一条

明治六年に租改正法を頒布以來此に至るに至る
事業僅かに數回あり而して其既經の滞りたるを
向ふて然り而して其既經の滞りたるを
考ふるに彼此の間其調査或は平準を失はれり
ノアリテ終議常に絶へず人民ヨリ再調査ヲ
請求スルモノアルニ至り其原因ハ所一檢
査ニサレば率子或ハ速ナリヨリ疎漏ヲ失セ
シト有民ノ訟事夥シク積弊セサリト云々
又故に満期ニ際しては續々調査スルハ又止
ルハ其弊ハ甚ク是レ故に急ぎて是レを一切リ

大正十一年四月
大隈侯爵印



一 頭主
 一 止ラス其弊害勝テ言フヘカラス是
 一 期以降一 調査ハ實際ヲ審察シ前期ノ
 一 損ヲ補綴改良スルヲ主義トスヘシ

第二條

各地及別収獲地價該期ニ於テ増減スルハ其理由
 十分確證スルモノヲ除クノ外ハ前期査定額
 一 振置ヘシ

一 但耕地地價ハ米麦大豆粟價ノ昇降著シキ
 一 由リテ増減ヲ来スモノハ自然ノ勢
 一 ルモノニシテ前期査定ノ正否ニ因ラス
 一 該期實地調査ノ必要ナルト否トハ及別
 一 収獲利子ニ就テ之ヲ考量スヘシ

二ノ二

第三條

各期更正スヘキモノヲ大別スル時ハ左ノ如シ
 一 地所ノ従漏或ハ重複
 一 地目ノ錯乱及ヒ変換
 一 及別ノ伸縮
 一 地位ノ変遷
 一 收穫ノ異同
 一 米麦大豆粟ホ價位ノ昇降
 一 利子ノ昂低
 一 地價ノ高寡

第四條

前期査定ノ收穫異同アルモノニ改良スルハ
 一 該地ノ比級權衡ヲ失スル

也且改正事務

前期地租の決定は、後地價を課スル地租地方税ノ
 率ヲ減セラシム、時々自カラ地價昇昂スヘキコ
 理ナリト魚氏事情ノ酌量ニ為メ、地價ヲ增加
 スルヲ須ヒス故ニ耕地々價調査ニ用フル利子
 二前期ノ收穫及ヒ米麦大豆粟價ヲ以テ前期ノ
 利子算則ニ依リ求ム所ト同數ノ地價ヲ得ルコ
 法トスヘシ今及ニ第二期調査ノ比例ヲ掲グル
 尤ノ如シ

一 田産及歩

此收穫米或石

内米三斗

残米是石七斗

租稅代定率
 是割五分引

二
 四

代在八四五拾步

但 是是石四拾

内

全八拾五步

全四拾或五五

全或四五拾五步

全或四拾或五五

全三四四拾步

全或四五拾五步

全五四拾步

全五四九拾五步

地地方租三多ノ一
 地地方租三多ノ一
 地地方租三多ノ一
 地地方租三多ノ一
 地地方租三多ノ一
 地地方租三多ノ一
 地地方租三多ノ一
 地地方租三多ノ一
 地地方租三多ノ一

此地價 全八拾五步

初期調査法
 第二期調査法
 七
 利

地租代定率

第九條

前期地價調査ノ利子ニ著ルシク格差ヲ失スル
モノアリテ前條ノ方法ニ據リ難ク多少ノ的
ヲ要スル時ハ其事由ヲ具申シ詳ク得テ後地
價調査ニ着手スヘシ

但酌量ノ要スルモノ僅クノ地ニ止マレ
郡或ハ一区域類ヲ一ニ平均上利子毛
未滿ノ差ヲ生スルカキハ此限ニ犯ス

第九條

第二期以後調査ニ際シ其宗地施行ノ順序方法
及ヒ人民ヨリ伺申セシムヘキ書類等明細取調
票議ヲ経テ后テ之ヲ官下ニ布達スヘシ

第十條

民費ノ節省ニ最良ニ村ノ地圖ハ少論性
ノ如キモ成ルルキ交々前期調査ノモノヲ用ヒ
シメ朱書林等ヲ以テ前期調査ノ地圖實地
百放ノ調査ハ簡易ニシテ要領ヲ得ルヲ主
各地方ノ事情ニ依リ實際ヲ審按シ適宜其順序
ヲ設ケヘシ

第十一條

既滿重複地ニ目ノ錯乱及別ノ伸縮ヲ得テ
更正ヲ請求スル時ハ地目及別ヲ改定ニ因
簿ヲ更正シテ進達セシムヘシ

第十二條

前期ノ耕地收獲其他各地ノ地價全村更正ヲ
求ムル一村中或ハ振置或ハ更正ヲ請求

土地改良事業

スルハ
海^海部
以テ
以テ

但地租改^改正ノ
理セシモノハ
テ開申セシメ
スベシ

第十三條

改租ノ
三モノハ
後申セシムヘシ

第十四條

人民更^更正ヲ
人民更^更正ヲ

ノ収獲地價
前ニ具申スヘシ

第十五條

實地ノ調査
= 抽出ニ
郡内ハ一区域
ハ一郡分
不精竝
更^更正スヘキ
再^再查
但地押ハ

地且丈量事務

地租改訂着手ノ前後ニ依リ其方法ニ採
テラサレモノアリ預メタル小異同ハ措テ
相ツ可カラス

第十六條

収獲地價全村振置ハ其地次ト一五平均上トニ
就テ視察ヲ加ヘ其許否ヲ決シ全村更正及七一
村中ノ更正法並ハ隣村比較ト内郡各地ノ標準
ニ就テ検査ニ其請求スル所至当ト認認ル時ハ
検査ノ上價額ノ目的ヲ立然ル後地主ヨリ一筆
限リ収獲地價ヲ更正シ之ヲ開申セシムルハ

第十七條

収獲振置請求ノ地ニシテ更正スル更正請求
ノ地ニシテ振置ハキキ至当ト認認セシムルア

ハ時々實地検査ノ上最前ノ請求ヲ排々懸寫説
諭ヲ加ヘ更正相当地主開申ヲ十廿シムル

第十八條

地主ヨリ開申セシ調書ハ収獲地價検査ノ目的
ト達成アル時ハ實際ヲ審察推定シ地主ノ開申
スル所不相当ト確認スルモノハ再調日命スル

第十九條

収獲地價一村総計上ハ亦當ト視認ルモノニ
テ内部ノ各地公平ヲ得サル所アルニ依リ地主
招議ノ上其總計ヲ振置内部ノ各地ヲ更正セシ
テテ惣地主連印ヲ以テ請求スル時ハ之ヲ敢ル
ニ一筆限リ更正ノ収獲地價ヲ開申セシムル

第二十條

耕地々破ハ收穫検査了ルノ後兩期、未考大豆
粟價ト各地相当ノ利子前期調査ノ利子ヲ
據リ地主ヨリ之ヲ開申セシムハ三

第二十一條

第十九條ノ祝前ヲ脈齋ヤス或ハ開申スル所ノ
收穫地價不適者十ルモノアリテ高之ヲ懸議ス
ル元強テ私且ヨリ主張ニ他一取ノ調査ハ既ニ整
頓ニ属スルノ際其一部分ノ之首肯セサル時ハ
検査ノ顛末及ヒ適当ト認認ル收穫地價詳悉稟
議ヲ経テ之ヲ決行スル

土地改良事業